令和７年　第２回定例会　一般質問

市政を問う！

◇令和7年3月改訂湯沢市人口ビジョンについて
◇観光振興について
◇ゆざわジオパークの再認定後の活動について

湯沢市議会
ユーチューブチャンネル
一般質問の動画をご覧になれます。

小田嶋秋一（おだしま しゅういち）議員

◆湯沢市人口ビジョンについて

質問 人口減少による地域活動における影響について伺う。

答弁 人口減少下でも持続可能な地域活動ができるように、財政支援や人的支援を行うほか、地域の活動拠点となる地区センターの整備も重要な対策の一つと捉えて支援していく。

質問 人口減少による本市の行政運営における影響を伺う。

答弁 職員数も少なくなるので、申請処理全体のデジタル化を推進するなど業務の効率化、行政運営の効率化に努める。

◆観光振興について

質問 小安峡大噴湯と川原毛大湯滝へスロープカー等の設置が可能か伺う。

答弁 民間事業者による情報収集と可能性調査を予定している。自然環境や景観に与える影響などについて十分な調査、検討をする。

◆日本ジオパークの再認定後の活動について

質問 ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた取組について伺う。

答弁 市民が地域資源の価値を再認識できる機会を増やし郷土愛の醸成を図っていく。

質問 ジオスタ☆ゆざわの展示資料の現在の充実度について教育長の見解を伺う。

答弁（教育長） 開設以来、本市の豊かな自然と歴史、文化を学ぶ拠点の一つとして、多く人々に来場いただいている。湯沢の魅力が多角的に深く理解できるとの声もいただいており、資料は充実しているものと認識している。

今後は、令和8年開館予定の湯沢駅周辺複合公共施設の歴史資料展示機能をセンター拠点とし、ジオスタ☆ゆざわ、雄勝郡会議事堂記念館、院内銀山異人館及び稲庭城をサテライト拠点として、本市の歴史文化を体系的かつ多角的に学べるよう発信力を強化する。

ひとこと

人口減少が様々なレベルで影響が出てくることを共有していきたい。

市政を問う！

◇インバウンド等誘客の推進について
◇住宅施策について
◇市内に所在する豚舎から発生していると思量される広範に及ぶ異臭について
◇企業誘致対策について
◇部活動地域移行について

湯沢市議会
ユーチューブチャンネル
一般質問の動画をご覧になれます。

大山　豪（おおやま ごう）議員

◆若者世帯住宅取得費用補助金について

質問 一般に住宅は個人の資産と見做されるが、これに補助することは公金の使途として適当か。

答弁 行政の補助金の支出は基本的に上限2分の1が通常と言われる。また、個人的な資産でも、浄化槽の設置等様々なところで補助がなされているので不適切ではないと考えている。

質問 補助のあり方について、真水支給の他に住宅ローンを前提とした利子補給のような補助の手法は検討されたか。

答弁 利子補給も一つの手法である。今回は建設費に対し直接基本額100万円と加算額を補助する手法を選んだ。他市の状況も見ながら、インパクトのある節目の金額とした。利子補給は、毎年度の補助金申請の際、補助を受けた方に直接会い、生活や補助事業対象物件がどうなっているかという確認が取れる。その点今回は補助を受けた方に毎年任意で聞き取りをしたい。

質問 補助を受けた者が譲渡や貸しに及ぶ場合、それをいかに制約するか。

答弁 家が本来の目的以外に使われていた、譲渡した等ということが5年以内にあれば、その経過年数に応じて補助金を返還していただく仕組みも考えている。

◆部活動地域移行について

質問 課外活動のあり方を大きく捉え、見直す良い機会である。兼部や学校外の施設・設備の有効活用、俯瞰して課外活動の可能性を広げるようなお考えは。

答弁 複数の活動に参加したい意欲的な小中学生が一定数いる。子供たちの意向を踏まえること、地域に部活動を展開する貴重な機会でもあり、将来的に、子供たちがやりたい種目に取り組めるような体制をしっかりつくる必要がある。

ひとこと

ぜひ本会議の動画もご覧ください